

講義コード	11C0120900	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	労働経済学Ⅰ					戎野 淑子	第1期		
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>人間は、「労働」することによって生活し、それを通じて社会を形成し発展させてきた。労働は、人間にとって基本的かつ重要な営みである。「労働経済学」においては、人々が働き、暮らしていく現実の姿を経済学的視点から焦点を当て、そこに発生する様々な事象や問題を分析し解明するものである。</p> <p>そこで、本講義では、人々の生活に身近で深く関わっている極めて重要な課題を中心に、就業に関わる様々な仕組みやその仕組みの持つ問題について、理論と関連させながら明らかにする。まず、分析枠組みの中心となっている市場の概念を軸に、「労働」という商品の特徴をとらえ、それによって労働に関する基礎的理論を理解する。そして、労働に関する現在の具体的な諸問題を取り上げ、昨今深刻かつ重要な社会問題になっている「雇用」に重点をおいて講義を進めることにしたい。</p> <p>なお、状況により、講義計画を変更・調整することもある。</p>								
到達目標	労働経済学の基礎知識を修得することができ、今日の日本の労働に関する状況や諸問題について、概要を理解することができる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	復習をすること。(計60時間以上)								
授業計画	<p>【第1回】はじめに：講義の概要と労働経済学の体系</p> <p>【第2回】労働に関する基本的概念：労働力人口、完全失業率等の具体的内容</p> <p>【第3回】労働供給に関する基礎的理論（Ⅰ）：労働と余暇（無差別曲線、労働時間の最適化等）</p> <p>【第4回】労働供給に関する基礎的理論（Ⅱ）：家計の労働供給（ダグラス＝有沢の法則等）</p> <p>【第5回】労働需要に関する基礎的理論（Ⅰ）：企業の労働需要（長期・短期）</p> <p>【第6回】労働需要に関する基礎的理論（Ⅱ）：市場の労働需要（技術進歩と労働需要との関係等）</p> <p>【第7回】労働市場のメカニズム：「労働」という商品の特徴、市場均衡</p> <p>【第8回】労働時間について：日本の労働時間の特徴、近年の動向（年間労働時間、裁量労働等）</p> <p>【第9回】賃金に関する基礎的理論：賃金の硬直性、賃金決定の制度要因、最低賃金等</p> <p>【第10回】賃金水準と格差：賃金水準の国際比較、年齢・職種・企業規模・産業間の賃金格差</p> <p>【第11回】失業に関する基礎的理論：失業の概念と失業の種類、フィリップス曲線</p> <p>【第12回】失業構造と日本の失業の特徴：日本の失業の特徴（失業水準、期間、構造）、失業対策</p> <p>【第13回】日本の雇用関係の特徴：日本的経営の3つの特徴</p> <p>【第14回】採用形態の内容と特徴：新規学卒採用・中途採用の特徴と近年の動向</p> <p>【第15回】まとめ</p>								
成績評価の方法	成績評価の方法 定期試験の結果を中心に評価するが、授業状況も加味する。なお、試験は持ち込み不可とする。								
フィードバックの内容	リアクションペーパーに対するフィードバックを次の授業で行う								
教科書	『労働経済白書』厚生労働省編（日経印刷株式会社）平成27年								
指定図書	『人的資源管理の基本』白木三秀編著（文真堂）2015年								
参考書									
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	水曜日お昼休み								
その他									